

読む（文学的文章）

## 第三学年 国語科学習指導案

### 一 単元名

状況の中で「故郷」―状況を捉え、人の生きる姿や社会について見つめる―

### 二 単元および教材について

「故郷」では、時間の経過に従って継起する様々な状況（情景・事件・人物の行動・人間関係等）に直面することによって、自分の置かれた立場を自覚し、己の生き方を見つめる姿が描かれている。特に、置かれている立場の違いによって起こる人物の言動や人間関係の変化は、主人公の生き方に変容を迫る重要な要素となっており、この社会的状況の中で生きる故郷の人々の人物像について十分に読み取りを行った上で、「状況を捉え、人の生きる姿や社会について考えを広げ深めること」に迫っていききたい。

義務教育を終え、これから社会に直接触れていく年齢になる三年生にとって、時代や社会の状況の中での、人と人との関わりについて考えをもつことは、これからの自分に関係する問題であると言える。そのことを理解した上で、社会の中で生きる人間について具体的に描かれている「故郷」を通して、状況を捉え、人の生きる姿や社会について考えを深めることができるように、言語活動を『故郷』を通して、**社会のあり方や人間の生き方について意見をもと**とした。

実際に自分の成長に生かすために、相手意識・目的意識を「**二十歳の私へ**」「**十五歳の学びの足跡を届けよう**」とし、十五歳の学びの足跡をポルトフォリオに綴じていく。そして、二十歳の成人式の時に、それを読み直し、あの頃の私はそういう考え方をしていたのかと自分を見つめ直すキャリア教育の一貫として活用する。

さらに、読後感想の域を一步進め、自分の「考え」を「形成」するため、次の流れで授業を仕組んだ。

①作品『故郷』に登場する人物に着目し、観点を絞る。

②作品の読みを踏まえながら観点について考える。

③仲間の意見を踏まえたと上で、自分の考えを再構築し、自分のものの見方や考え方を広げ深める。

①では、『故郷』という作品から、このテーマで書いてみたいという観点を自分で考える。自ら観点を考えることで、課題を発見し、興味関心を高め、主体的な学びにつながることを考えた。作品の読み取りを終え、**観点を絞る際には、登場人物についてどう思うのかについて問う**。そして、**さらになぜそのような人物になっ****てしまったのか、自分はその人にどのようなように生きて欲しかったのか、と考えを巡らす中で、状況の中で生きる人間に対する疑問が生まれるようにする**。ただし、意見を述べる観点を持つことが困難な生徒もいるため、**観点の見つけ方についての全体交流の場面を位置づけた**。

③では、あらかじめ個人で考えたことを、仲間との交流を通して、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりすることができるよう対話的な活動の時間を位置づけた。

### 三 生徒の実態

意欲的に学習に臨む生徒が多い。また、男女の仲も良く、交流の際は分け隔てなく自分の考えを話すことができる。また、読むことの授業では、描写を根拠に登場人物の心情や表現の工夫を読み取るなど、内容を理解することはできている。

しかし、内容の解釈はできても「考えの形成」に関しては弱さを感じる。考えのもとになるものが自分の体験に偏っているため、自分のものの見方を広げたり、深めたりする姿が少なく感じている。

このような生徒の実態を踏まえ、文章を読んで「人の生きる姿や社会」について考え、対話的な活動を通して、仲間の考えを自分の考えの形成に生かすことで、「深い学び」が実現すると考えた。

中学校学習指導要領解説「読むこと」（中）ア・イ・エ第三学年より

ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。

イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。

### 四 岐阜県中国研 「生きてはたらく言語能力」の育成について

「生きてはたらく言語能力」を具体化する。―「生きてはたらく言語能力」具体化一覧表―より

● 筆者がどのような意図でその語句を用いたのか、読み取ることができる。

● 登場人物の心情の変化を読み取るために、繰り返し返される言葉、心情描写、行動描写、情景描写などに着目して読むことができる。

● 作者の人生観や生き方と関連させて作品を読み、人間、社会、自然などについて自分の意見を書きまとめたり話したりすることができる。

日時 平成二九年十月二十七日

場所 岐阜大学教育学部附属中学校

二多目的教室（二階）

学級 三年三組（男子二十名・女子二十名 計四十名）

授業者 山田優貴



七 本時のねらい

「故郷」の解釈をもとにして、人の生きる姿や社会のあり方について考えたことを仲間と交流する活動を通して、自分のものの見方や考え方を広げたり、深めたりすることができると期待される。

八 本時の展開 (9/9)

<p>導入</p>	<p>学習活動</p> <p>◆学びの足跡であるポートフォリオに今までどんなものを収集してきたのか振り返る。</p> <p>◆本時の課題</p> <p>人間や社会について考えたことを交流し、仲間のものの見方や考え方を生かして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりしよう。</p>	<p>指導・援助</p> <p>・ポートフォリオの中身を振り返り、考えの形成を行う「相手意識・目的意識」を自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら確認することで、主体的な学びにつながるようにする。</p>
<p>展開</p>	<p>◆自分のテーマと考えたことについて発表する。</p> <p>【Aさん】私は、あの神祕の宝庫だったルトウがでくのぼうみたいな人間になっただけでよかったことに衝撃を受けました。私は、ルトウに、たとえ身分の差があっても子ども頃の頃のように、「私」と友人であってほしかった。金色の丸い月のように輝いていてほしかったです。しかし、なぜそのようなルトウになっただけでよかったのかを考えると、重い税金に苦しめられるなど、社会が関係していることが分かりました。そこで、私は「どんな社会だったか」ルトウは、でくのぼうにならずにすんだのだろう」という個人テーマを立てました。結論から言うと社会制度によって、一人一人が安心して暮らせる社会であれば、ルトウは希望を失わず、でくのぼうのような人間になることはなかったと思うのです。税金の二重取りが行われているのも、匪賊がいても取り締まれないのも、役所や警察官がきちんと動いていない社会だからです。社会制度が整っていないため、安心して暮らせない社会でルトウは生きていました。反対に社会制度の整った国を見てみると、幸福感も高いです。幸福度が高いデンマークでは、労働時間が決められていたり、女性の就職率が世界一高かったり、教育費は大学まで無料という手厚さです。医療負担もほとんどありません。このように社会制度が整い、一人一人が守られる社会であってこそ、初めて希望をもって生きられるのだと思います。</p> <p>◆仲間の発表に關わって自分の意見を発表する。</p> <p>【Bさん】確かに社会制度が整っていると安心して暮らせると思います。しかし、そんな社会を実現するには私たち一人一人の意見が反映されなくてはならないと思います。故郷の作品の最後にも「歩く人が多くればそれが道になる」とあります。一人一人が意志をもって生きることで、社会が分かります、誰もが安心して生きられる社会制度も整うのだと思います。</p> <p>【Cさん】Bさんの発表を聞いて、一人一人が意志を示すことが大事だと思いました。でも、ルトウは税金や匪賊など、いろんなものに苦しんでいて、とても希望をもって生きることもできなかつたのだと思います。そんな中でも希望をもてる人は超人です。そこで、私は、誰もが希望をもつにはどうしたらいいかについて考えました……</p> <p>◆仲間の発表を聞いて、学んだことをグループで交流する。</p> <p>【Dさん】年金のことであれだけ、大丈夫なことで不安になるのは、本当に社会が自分のことを守ってくれるのか心配になるからだよ。安心して暮らせる社会づくりが必要だと思つたよ。</p> <p>【Eさん】でも、社会制度がしっかりしていれば、それで幸せなのかな?ムヒカ前大統領は、「日本人は・・・」と言っているし、野放図に走るヤンおばさんを見ている、足を知らない人間は満たされたいと思つた。</p> <p>◆グループ交流を通して、自分の考えはどのように広がり、深まったのかを発表する。</p> <p>【Fさん】私は、ルトウやヤンおばさんの姿や発言の変化から、「国が豊かでない」と、人の心は荒む」と考えました。しかし、Fさんの発言を聞いて、そもそも「豊かさ」とは何だろうとさらに疑問が深まりました。私が考える豊かさとは金銭的なものから、「足るを知る」中で感じることもできる幸せへと変わりました。沖縄研修のときに、感じた幸福感は今までの幸せ、太陽の光を浴びることが「できる幸せなど、足るを知ることで当たり前の日常に幸せを感じることが出来ます。そして、それは「国が豊かでない」と・・・」と違つて、自身で生み出せるものです。「国が豊かだからよかつた」「国が豊かでないから・・・」ではなく、いつも自分に物差しをもつていて、自分で幸せを見いだせる人でありたいと思つました。</p>	<p>・「感想」と「考えの形成」の違いを示す中で、「考えの形成」を行う必要性を「自分づくり」と「新しい時代を生き抜く力」の二つの観点から示し、主体的な学びの姿を生み出すようにする。</p> <p>「新しい時代を生き抜く力」とは次の三つを指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)新しい情報を編集・操作する力</li> <li>(2)新しい情報を、すでに持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力</li> <li>(3)新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力</li> </ol> <p>・全体交流の場面では、意図的指名により、モデルを示すようにする。モデルで示したい内容は次の三つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)「故郷」の作品の中から読み取れることを根拠に考えの形成を行う発言。</li> <li>2)「故郷」の作品だけでなく、新たな情報を踏まえた上で考えの形成を行つた発言。</li> <li>3)仲間の発言を踏まえた上でさらに考えの形成を行つた発言。</li> </ol> <p>・仲間の考えを聞いて、自分の考えを見直し、再構築するために、「広がった」「深まった」という視点を与える。</p> <p>◎「広がった」：自分にはなかつた視点を持つことができた場合</p> <p>◎「深まった」：他の視点も踏まえて、自分の考えをもつことができた場合</p> <p>・自分の考えを述べる場を全員に設定することで、多くの仲間のものの見方や考え方を知ることができるようになる。また、自分のものの見方や考え方について仲間から意見をもらうことで妥当性を確かめたり、視野を広げたりすることができるようにする。</p> <p>・「仲間の考えを踏まえた上で自分の考えを発言する」という条件を与えることよつて、仲間の考えと自分の考えの共通点や相違点をはっきりさせた上で、自分の考えを再構築できるようにする。また、個別に話させる場面を設定することで、脳に汗をかかせる状態をつくり出す。</p> <p>・仲間の意見を踏まえた上で、自分のものの見方や考え方を広め、深めた生徒を価値付けることで、振り返りを書くときのポイントを示唆する。</p>
<p>終末</p>	<p>◆振り返りを書く</p> <p>私は、幸せになるためには、国が豊かでないといけないと思つたのですが、そのためには安心ができる社会制度がないといけないと視野が広がりました。また、Eさんの発言を聞いて、幸せとは、自分の心が決めるものであると思つた。安心して暮らせる社会をつくり、足るを知る人間づくりを行うことが、現代を生きる私たちに必要だと思つた。</p>	<p>仲間の考えを踏まえて人間、社会、自然などについて自分の考えを広げたり深めたりしている。(読むこと)エ)</p>